



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年7月4日
名

上場会社名 株式会社アークコア 上場取引所
 コード番号 3384 URL http://www.arkcore.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 正渡 康弘
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 土屋 勉 (TEL) 03(5837)3611
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の業績（平成26年3月1日～平成26年5月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	640	—	12	—	11	—	6	—
26年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年2月期第1四半期	3.61		—					
26年2月期第1四半期	—		—					

(注) 平成26年2月期第1四半期は個別財務諸表を作成していないため、平成26年2月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	1,250	490	39.2
26年2月期	1,021	513	50.3

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 490百万円 26年2月期 513百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,207	—	81	—	80	—	49	—	28.35
通期	2,282	△35.4	103	△2.9	100	2.2	62	5.2	35.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年2月期第2四半期は個別財務諸表を作成していないため、平成26年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年2月期1Q	1,970,000株	26年2月期	1,970,000株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	321,000株	26年2月期	216,700株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年2月期1Q	1,703,417株	26年2月期1Q	1,970,000株

(注) 当社は、平成26年3月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っておりますので、平成26年2月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出した期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、前年度第1四半期は、四半期連結財務諸表を作成していましたが、四半期財務諸表を作成していなかったため、当第1四半期との対比を記載しておりません。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益が改善される傾向にあるものの、個人消費は消費税率の上昇に伴い弱含みに推移しております。また、雇用情勢は、新規求人数は増加し有効求人倍率は上昇しているものの、若年層の完全失業率が上昇する状況が続いております。

当社では、前事業年度での報告セグメントは中古バイク事業、ゲオショップ事業及び子会社における不動産事業と3つの事業別セグメントとなっておりますが、当第1四半期からは中古バイク事業のみの単一セグメントとなっております。

中古バイク事業の買取台数は3,022台(前年同期比7.8%減)となり、前年同期比での台数の減少傾向が続いております。

販売台数は2,799台(前年同期比22.0%減)となりました。買取台数よりも減少割合が大きくなった原因は、当該事業の売上高の80%以上を占める業者間オークションへの出品政策を変更した影響によります。

通常、バイクユーザーの購買意欲は春から夏にかけて高まり、それに連動して業者間オークションの相場が上昇していく傾向にあります。当第1四半期においては一部の車種の相場の回復が遅れているため、相場の回復が見込まれる6月から8月にかけてオークションに出品することにいたしました。その結果、5月末日時点での在庫台数は、前年同月末日時点より34.4%増加しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は640百万円、営業利益は12百万円、経常利益は11百万円、四半期純利益は6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期会計期間末において総資産は1,250百万円となり、前事業年度末と比較して229百万円増加しました。主な要因としては、金融機関からの借入れにより現金及び預金が209百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末において負債は760百万円となり、前事業年度末と比較して252百万円増加しました。主な要因としては、金融機関からの借入れにより長期借入金が246百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末において純資産は490百万円となり、前事業年度末と比較して22百万円減少しております。四半期利益6百万円を計上し、利益剰余金が同額増加しましたが、自己株式を追加取得し、自己株式が29百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間末の現金及び現金同等物は760百万円となっております。当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、支出した資金は54百万円となりました。主な要因としては、たな卸資産の増加による減少額36百万円、賞与引当金の減少による減少額11百万円、役員賞与引当金の減少による減少額9百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は5百万円となりました。主な要因としては、過年度の子会社株式売却による収入6百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は258百万円となりました。収入としては、長期借入れによる収入350百万円であり、支出としては、短期借入金の返済による支出25百万円、長期借入金の返済による支出27百万円、社債の償還による支出10百万円、自己株式の取得による支出29百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期業績予想については、平成26年4月14日に公表いたしました予想数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	581,418	790,626
売掛金	4,391	5,278
商品	241,549	278,068
繰延税金資産	11,867	7,318
その他	27,663	16,456
流動資産合計	866,890	1,097,747
固定資産		
有形固定資産	31,576	30,137
無形固定資産	502	996
投資その他の資産	122,422	122,060
固定資産合計	154,501	153,194
資産合計	1,021,391	1,250,942
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,433	10,514
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
短期借入金	58,330	33,328
1年内返済予定の長期借入金	114,228	190,381
未払金	30,629	25,664
未払法人税等	21,275	1,342
賞与引当金	15,700	4,574
役員賞与引当金	9,000	—
その他	38,551	46,743
流動負債合計	316,148	332,547
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	181,656	427,751
固定負債合計	191,656	427,751
負債合計	507,804	760,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	260,535	260,535
利益剰余金	84,154	90,310
自己株式	△63,926	△93,026
株主資本合計	513,587	490,643
純資産合計	513,587	490,643
負債純資産合計	1,021,391	1,250,942

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	640,254
売上原価	393,982
売上総利益	246,271
販売費及び一般管理費	234,131
営業利益	12,140
営業外収益	
受取手数料	559
雑収入	501
その他	10
営業外収益合計	1,071
営業外費用	
支払利息	1,665
その他	132
営業外費用合計	1,798
経常利益	11,413
税引前四半期純利益	11,413
法人税、住民税及び事業税	708
法人税等調整額	4,549
法人税等合計	5,257
四半期純利益	6,155

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第1四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	11,413
減価償却費	1,495
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,126
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,000
支払利息	1,665
売上債権の増減額(△は増加)	△886
たな卸資産の増減額(△は増加)	△36,518
仕入債務の増減額(△は減少)	2,080
その他の流動資産の増減額(△は増加)	5,172
その他の流動負債の増減額(△は減少)	3,303
その他	△600
小計	△33,001
利息の支払額	△1,665
法人税等の支払額	△19,727
営業活動によるキャッシュ・フロー	△54,394
投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△550
関係会社株式の売却による収入	6,000
出資金の払込による支出	△10
差入保証金の回収による収入	17
その他	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,451
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△25,002
長期借入れによる収入	350,000
長期借入金の返済による支出	△27,752
社債の償還による支出	△10,000
自己株式の取得による支出	△29,099
財務活動によるキャッシュ・フロー	258,146
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	209,202
現金及び現金同等物の期首残高	551,418
現金及び現金同等物の四半期末残高	760,620

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、中古バイク事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。